

第144回東北地方交通審議会  
船員部会議事要録

令和2年10月23日  
東北地方交通審議会  
船員部会事務局

# 東北地方交通審議会 第144回船員部会

日 時 令和 2 年 10 月 23 日 (金) 13:30~

場 所 仙台第4合同庁舎 4階会議室

出 席 者 公益委員 : 高橋(真)部会長、増田部会長代理

豊田委員、佐々木委員

労働者委員 : 鈴木委員、高橋(雅)委員、奈良委員

使用者委員 : 勝倉委員、増富委員、平岡委員

運 輸 局 : 寺川海事振興部長、丹藤海事振興部次長

菊池船員労働環境・海技資格課長

齊藤船員労政課長、鈴木専門官、渡邊労政係長

## 議 題

(1) 管内の雇用等の状況について

(2) その他

## (資料)

資料 1 船員職業安定業務取扱状況説明資料 (8月分)

資料 2 新規求人・求職数 (東北管内: 3年対比)

資料 3 有効求人・求職数 (東北管内: 3年対比)

資料 4 新規求人・求職数 (全国)

資料 5 有効求人・求職数 (全国)

資料 6 有効求人倍率 (東北管内)

資料 7 有効求人倍率 (全国)

参考資料 令和3年度 海事局関係予算概算要求概要

## ◎開 会

### 【丹藤海事振興部次長】

それでは、全員おそろいになりましたので、ただいまから第144回船員部会を開催させていただきます。

議事に入ります前に、7月21日付で東北運輸局長が、8月1日付で東北運輸局次長が交代しましたので、本日は亀山新局長からご挨拶申し上げます。

### 【亀山東北運輸局長】

〔挨拶〕

### 【丹藤海事振興部次長】

亀山局長につきましては、この後、業務都合により退席となります。

続きまして、今月10月の部会から委員の交代がありましたのでお知らせいたします。使用者委員の白幡委員の後任として、増富委員が新しく委員に任命されました。

ここで、増富委員からご挨拶を賜りたいと思います。よろしく願いいたします。

### 【増富使用者委員】

〔挨拶〕

### 【丹藤海事振興部次長】

〔第144回船員部会の成立状況について報告〕

〔配付資料の確認〕

## ◎議 事

### (1) 管内の雇用等の状況について

### 【高橋（真）部会長】

議事に入ります。

それでは、議事次第の「議題（1）管内の雇用等の状況について」、事務局からお願いします。

〔斉藤船員労政課長から資料1～7に基づき報告〕

### 【高橋（真）部会長】

ありがとうございました。

ただいまの報告について、何かご意見、ご質問等ありますでしょうか。

## (2) その他

### 【高橋（真） 部会長】

なければ、資料についての説明はご了承いただいたものといたします。  
それでは、「議題（2）その他」の情報提供に入りたいと思います。  
まず最初に、労働者委員からお願いします。

### 【高橋（雅） 労働者委員】

それでは私から、今月の16日、中央の旅客船の最賃の改定額が確認されました。各職350円の増額で、職員で24万6,800円、事務部職員で19万2,700円、部員で18万5,350円という改定額が確認されております。

それと、皆様ご存じだと思いますが、福島沖の操業が来年4月からということで、福島県漁連傘下の組合長さんたちが集まって確認したということです。それに併せて、10月16日、政府のほうで汚染水の処理について海洋放出するということが今月中にも決定する方向だということです。前にも言いましたが、石巻の沖底の船が、来年1月から、福島の沖の一部を試験的に操業するということが、せっかくそういう漁場ができたにも関わらず、また汚染水を放出して風評被害が出たらどうするんだということで、漁業者の人たちは皆さん反対しているようです。今月どういう方向に決まるのか心配しています。

また、今日の水産経済新聞に載っていたんですが、自民党の水産部会と水産総合調査会というところが合同で会議をしまして、日本海のスルメイカの漁場である大和堆での外国漁船による違法操業の問題についても議論をしたということです。それで、去年までは北朝鮮の漁船が来ていましたけれども、今年は中国船が来ているということです。日本のEEZの中であっても、取締船のほうが必要ないトラブルを避けるために日本の漁船は入るのを控えてくださいと言っているということで、大分漁業者も、そして、実際の漁をしている乗組員のほうも怒りを感じているという状況です。

### 【高橋（真） 部会長】

ありがとうございました。  
そのほか、鈴木委員。

### 【鈴木労働者委員】

私からは、TACの話、水産庁の話です。八戸では、前から言っているようにイカが主で沖合底びき漁船が9月から出漁していますが、前沖にイカの漁獲物があるにも関わらず、今思うように獲れない状況になっています。それはなぜかというと、イカのTACの関係で、宮城・岩手・青森・北海道、一律一番最初のTACが1,800トンでもらっています。それは隻数も関係ない、船の大きさも関係なくて、一律1,800トンずつ配分されていますが、それが消化した県にリザーブとい

う形で配分するという仕組みになっていて、去年からですが、今年も青森では八戸沖は量があって、2回のリザーブの申請をして、2回リザーブできて、1,800トンから3,000トンに増えましたが、それももうそろそろ底をつくんです。去年の場合は、たまたま宮城・岩手・北海道は量がなくて、そのリザーブを八戸だけで使ったような格好になりましたが、今年は宮城も量があるし、岩手や北海道も量があって、八戸にだけTACを、何回もリザーブを出すわけにいかないということで、もらえなくなって、目の前にイカがいるのに、「獲れないんですか」の声あり）獲れないんです。それが300箱と今決まっていますが、20キロが300箱なので、6トンくらいです。それを11隻で獲っているんですが、それも残りのトン数がなくて今月いっぱい大体終わるわけです。そうすると11月、12月どうするんだという話が出てくるんです。

生きているものを獲るのに、そこにいるのに獲れないというのは、TACのことがあるのはここで論議するつもりもないし、言っても始まらないことですが、そこにいる魚が捕れないというのは、資源を増やすためにといえましょうが、私も水産庁の会議に出るときがあるので水産庁には言います。資源、資源ってあんたたち言うけれども、その資源が増えてきたときには漁船がなくなるよ。何のために資源を増やすんですか。せっかくいる魚を獲れないというのもどうなんですかと。私の考えです。そういうことがあります。

**【高橋（真） 部会長】**

ありがとうございます。  
奈良委員、ありますか。

**【奈良労働者委員】**

サンマ漁ですが、今年8月中旬に出漁した後、非常に厳しい状況でしたが、10月に入りまして、ロシア海域のほうで魚が見え始めまし、今徐々に、まだまだですが、ようやく最低最悪の状況は抜け出したような状況でございます。

**【高橋（真） 部会長】**

ありがとうございます。  
それでは、使用者委員お願いします。勝倉委員。

**【勝倉使用者委員】**

今資源の問題とTACの話も出たので、私も遠洋マグロのほうからの報告で、みなみまぐろ保存委員会（CCSBT）年次会合が先週の月曜日から金曜日まで5日間、今回はリモートで行われました。例年ですと、加盟国の持ち回りで、その国に行って加盟国が集まって行われますが、今年はこのコロナの関係で移動できないということからリモート会議ということで、それでも5日間の会議で、今回の会議の一番大きなポイントは、2021年から2023年までの3年間のミナママグロの漁獲量とその配分をどうするかということで、今年は突っ込んだ話もでき

ないという状況もありましたので、今現状維持の総枠1万7,647トンで決定して、日本等、各国微増という形です。その中身を少しいじくったので、各国微増で、日本は6,165トンから微増しています。

そして来月には、大西洋まぐろ類保存国際委員会（ICCAT）、アイキャットと言われているものですが、それが11月に、それもリモートで開催されます。今マグロの国際会議は全てリモート、2国間の交渉もリモート。それで来年以降の枠組みを決めているという状況になっています。

**【高橋（真） 部会長】**

分かりました。ありがとうございます。

平岡委員、ありますか。

**【平岡使用者委員】**

内航海運の主要荷主である日本製鉄は、新型コロナウイルス拡大に伴う需要の急減で一時休止していた室蘭製鉄所と東日本製鉄所君津地区の高炉それぞれ1基を、11月下旬を目途に再稼働することを明らかにしました。主要な顧客である自動車メーカーが一時の減産から回復基調に戻ったことで、需要の落ち込みが底を打つと見て、今後は鋼材の増産に踏み切るということです。

内航海運の輸送量も底をつくわけですが、共同係船や用船料のカットが行われており、今後の元請オペレーターの対応が注目されております。

**【高橋（真） 部会長】**

ありがとうございました。

そのほか、ありませんか。

ないようですので、本日の議事は終了となります。

次回の船員部会は、11月27日金曜日の13時30分から、会場はここ4階会議室で開催します。

◎閉 会